

【1. 特徴的な学び・授業について】

Q 1. 英語も理科も飛び抜けて得意というわけではない生徒にとって千里高校の授業は難しいのか。

A : 決して難しくありません。千里高校で学ぶにあたって重要なのは、英語や国際問題、理科や数学などの科学分野への興味・関心です。英語が好き、理科や数学が好き、という気持ちがあれば問題ありません。

Q 2. 中学範囲の英語の勉強で国際文化科の授業についていけるか。

A : もちろんついていけます。入学当初から高度な英語学習を行うわけではありませんのでご安心ください。段階的に語学力を習得していきます。

Q 3. 第2外国語は希望のものが選択できるか。

A : 第一希望のものを受講できます。(今後何か特別な事情が発生しないかぎり受講できます。) なお、国際文化科の全員が第二外国語を履修します。

Q 4. カリキュラム表などに出てくる「GC」「DD」「CS」「WS」とはなにか。

A : すべて英語の授業です。

GC (Global Communication)

国際文化科の1年生で行われます。英語でのコミュニケーションスキルを向上させます。

DD (Debate Discussion)

国際文化科の2・3年生で行われます。英語で自分の意見を伝える能力を育成します。2年生の最後には英語でディベートを行います。

CS (Communication Skills)

総合科学科で3年間行われる授業です。英語でコミュニケーションをとったり、自分の意見を伝えたりする能力を育成します。科学的内容の英文に触れ、英語を通じて科学分野にアプローチすることもあります。

WS (Writing Skills)

両学科で行われる授業です。英語を運用するために必要な文法知識の獲得を目指します。

Q 5. 科学実験は大学や他研究機関と連携して実施しているのか。

A : 科学探究の授業や発表などで、大学の先生や大阪大学院生の助言・協力を得ています。これは、国際文化科の探究も同様です。

Q 6. FSG は探究授業の一環か、部活のような放課後活動か。

A : 放課後活動の一環です。有志が集まり、それぞれに実験や研究を行い、その成果をコンテストや発表会などで披露しています。国際文化科の生徒も参加できます。

Q 7. FSG について、どんなテーマをどの時間を使って行っているのか。

A : 1年生のうちから科学的なテーマについて探究を行っています。活動は、長期休みや土曜日、放課後などに行っています。

Q 8. 総合科学科では具体的にはどのような実験ができるのか。

A : 教科書に載っているような実験はもちろん、ほかにも「水の硬度測定」「COD 測定」「大腸菌の遺伝子組み換え」「DNA の電気泳動」などを行っています。

Q 9. ロボット製作やプログラミングの授業等もあるのか。

A : 科学探究の講座の中にプログラミングを用いた研究を行っているものがあります。また、FSG でもロボット製作を行っています。

Q 10. 総合科学科の化学、物理系は充実していそうな印象だが、生物系はどうか。

A : 充実しています。「大腸菌の遺伝子組み換え」「DNA の電気泳動」などの実験も行います。

Q 11. SSH の指定は、いつまで継続か。

A : 令和8年度までです。第1期・第2期の取り組みが評価され、第3期の指定が令和4年度より5年間始まりました。

Q 12. WWL とはなにか。

A : 文部科学省が行うワールド・ワイド・ラーニング・コンソーシアムの略です。SGH (Super Global High school : 2018年度末に本校も含め全国で事業終了) の後継事業です。高等学校等と国内外の大学、企業、国際機関等が協働し、テーマを通じた高校生国際会議の開催等、高校生へ高度な学びを提供する仕組みの形成を目指す取り組みです。千里高校がこの事業に参加することで、連携校生徒対象のセミナーや国際会議に参加する、大学から課題研究に必要な講師の派遣を受けるといったことが可能になっています。WWLはSSHと同様に、国際文化・総合科学の両学科が対象です。

【2. 学科選択について】

Q 1. 国際文化科の生徒が大学受験で理系を選択、または、総合科学科の生徒が文系を選択することはできるか。

A : 総合科学科の生徒が文系コースを選択し文系大学を受験することは可能です。国際文化科の生徒用の理系コースもありますが、数学Ⅲを履修できないので、一部の理系大学に対応できません。数学Ⅲが不要な大学には対応できます。数学Ⅲを学外で学べば対応できます。

Q 2. 他学科の科目（授業）選択することができるか。

A : 他学科の授業を選択することはできません。

Q 3. 入学後に学科を変更できるしくみはあるか。

A : ありませんが、在籍する学科内でのコース選択により対応することができます。(例：総合科学科に在籍し、3年次から文系コースを選択し、文系大学を受験する。)

Q 4. 入学後に学科を変更できない場合、変更希望者に学校が個別にサポートするしくみはあるか。

A : あります。具体的には、それぞれの学科内に進路変更者用のコースを設けています(国際文化科内に理系進学者用コース、総合科学科内に文系進学者用コース)。総合科学科からの文系進学はコース内の授業ですべて対応できます。国際文化科からの理系進学は、数学Ⅲを除いて対応できます。数学Ⅲについては、正規授業は受講できません。(校内講習等は受講できます。)

Q 5. 進路が未定の場合、入学前に学科を選択する際、どのような観点で考えればよいか。

A : まずは興味・関心のある分野が、英語・国際系なのか、理数・科学系なのかということをお考え下さい。その際、国際文化科からの理系進学には一部制限があること、総合科学科からの文系進学は問題なく可能であることもご考慮ください。

【3. 進路指導について】

Q 1. 学校による進路指導は具体的にどのようなものか。

A : キャリア教育と受験指導です。キャリア教育は、学ぶことの意味や、大学に進学することの意味などについて、1年次から2年次の前半にかけて行います。受験指導については、1年次から定期的に模擬試験を受験し、その結果を基礎学力定着のための取り組みに用いています。2年次後半からは模擬試験の頻度を高め、本格的に受験指導に入っていきます。このようなに3年間の進路スケジュール体系化し教員間で共有することで、ノウハウを蓄積しそれを生かした進路指導を行っています。

Q 2. 補習授業や講習はあるか。

A : 希望者向け講習を特に3年生に対し多く設定しています。夏期講習は全教科で行い、今年度は20講座98時間設定しました。また毎土曜日には英国数を中心に受験対策講座を開いています。秋から冬にかけては、各教科において放課後などの講習が設定され、受験対策を行っています。国公立大学の二次試験対策講座も各教科で行っています。1・2年生については、放課後や長期休暇に各教科の必要に応じて講習・補習を設定しています。

Q 3. 特徴的な授業が多いようだが、そのかわり受験に必要な授業は少ないのか。

A : そのようなことはありませんのでご安心ください。受験に必要な科目は授業の中できちんと履修します。1年生から受験を意識した授業を行いますし、3年生になると授業内で受験対策がほぼすべての教科で行われます。千里高校の特徴は、そのような受験対策だけでなく、総合学習(探究・科学探究)や、英語運用能力育成の授業、科学実験授業などの授業をカリキュラムに取り入れていることです。

Q 4. 自習室の有無と、使用できる期間と時間帯はいつか。

A : 自習室はあります。平日の授業外の時間(朝・放課後・休み時間)と、土曜日の8:30~16:00に開放しています。長期休暇中も、お盆・年末年始・大型連休などを除き開放しています。

Q 5. 国際文化科の進学先は英語関連の学部が多いのか。

A : 多いですが全てではありません。社会学部や経済系学部に進学する生徒も多くいます。(詳しい割合は学校説明動画をご参照ください。)どの学部・学科に進んでもグローバルな視点を持って学ぼうとする生徒が多いのが国際文化科生の特徴です。

Q 6. 国際文化科から薬学系の大学に進学する事は可能か。

A : 可能です。国際文化から薬学部を目指す生徒は毎年います。ただし、国際文化科は数学Ⅲが履修できませんので、国公立大学の薬学部には対応ができません。数学Ⅲの不要な私立大学薬学部を受験するか、学外で数学Ⅲを学び、国公立大学薬学部を受験することになります。

Q 7. 学科別の合格大学とその学部を知りたい。

A : HPに詳細なデータを掲載しております。ぜひご覧ください。

Q 8. 芸術(美術)系の大学に進学する生徒もいるか。

A : います。東京芸術大学、京都市立芸術大学、大阪教育大学(美術・書道教育課程)などへの進学事例があります。音楽大学への進学者(大阪音楽大学など)もいます。

Q9. 入学時点でどのくらいの新入生がある程度の将来の目標をもっているのか。中学生では将来したいこともまだわからず、学科も決めかねている。

A: 明確な数値でお示しすることはできませんが、具体的な目標(職業や分野)を決定している生徒は少ないと思われます。ただ、専門学科であるため、他の高校よりは多いかもしれません。「周囲の友人が高い目標を持っているので、とても良い刺激になっている」という声を本校生からよくききます。本校生に多いのは、「英語が好き」「国際問題に興味がある」、「理科や数学などの科学が好き」「実験がしたい」という興味関心から、本校を志望した生徒です。中学生段階で目標が明確でなかったとしても、自分の興味に基づいて千里高校在学中にさまざまなことを学び、自分の将来について考えてほしいと思います。

【4. 研修・留学について】

Q1. 国際文化科の生徒は科学的内容の研修にどのようにして参加するのか。

A: 千里高校で実施する科学研修は、学科の別を問わず募集をしていますので、国際文化科の生徒でも申し込むことができます。実施される時期等は関係ありません。

Q2. 海外研修旅行希望者は全員参加可能か。定員がある場合、どのような選考方法か。

A: いわゆる修学旅行にあたる海外研修旅行は全員参加可能です。希望者向け海外研修はプログラムによっては定員があることもあります。超過した場合、そのプログラムの内容に応じた選考を行います。

Q3. 留学について詳しく説明してほしい。

A: 欧米を中心に、年間数名が留学します。期間は、欧米であれば8・9月から翌年の7月までの10～12か月です。中には2年間留学する生徒もおります。留学期間中の学業は、その取り組みが良好であれば千里高校の進級・卒業に必要な単位として認定され、帰国後に進級(例: 2年次に1年間留学し、帰国後3年生に在籍)できます。また、そのままは原級留置(例: 2年次に1年間留学し、帰国後もう一度2年生に在籍)することもできます。なお、以上の制度は両学科共通の制度です。

【5. 選抜について】

Q1. 千里高校には専門学科があるが2月ではなく3月の一般入試で受験するのか。

A: はい。3月の一般入試です。

Q2. 数学英語は、C問題だが、国語はB問題か。

A: 国語もC問題です。

【6. その他】

Q 1. ロッカーの大きさはどの程度か。教科書や用品が置けるのか。

A : 縦 55cm、横 25cm、奥行き 45cm です。教科書なども十分収納できます。

Q 2. 学校最寄り駅からの自転車通学は可能か。

A : 原則できません。電車通学の場合は、駅からは徒歩での登校となります。(特別な事情がある場合はご相談ください。)

Q 3. 校内で携帯電話の使用はどこまで可能か。探究学習などで検索することもあるか。

A : 朝・昼休み・放課後を除く時間は「校舎(教室)内持ち込み禁止」とし、ロッカー内に收容するようにしています。これは、休み時間は携帯電話に興じるのではなく級友たちと交流してほしいという思いからです。緊急で必要な場合はロッカー付近(下足室付近)で使用します。全員タブレット端末を所持していることもあり、授業内での携帯電話の使用は基本的にはありません。

Q 4. 学食はあるか。

A : あります。量も多く、好評です。オムライスとチキンカツが人気メニューです。

Q 5. タブレット等の機器を自宅に準備する必要はあるか。

A : ありません。タブレット PC (Chromebook) が貸与され、学校及び自宅で使用します。

Q 6. 千里高校は二期制か。

A : はい。二期制です。前期が4月から9月、後期が10月から3月です。

Q 7. 帰国生選抜について知りたい

A : 本校で実施している帰国生選抜は、「海外から帰国した生徒の入学選抜」です。「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人入学選抜」ではありません。受験対象となるのは、「外国に2年以上住み、その後、帰国してから2年以内」の方です。試験科目は、数学・英語・面接で、調査書は点数化されません。令和5年度入試の募集上限は8名でした。(令和5年7月10日付発表「公立高等学校入学状況概要について」参照)